

# 2020年度（2021年3月期） 第3四半期 業績概況

---

2021年2月8日

**H.U.グループホールディングス株式会社**

※ 本資料では、記載している部分及びEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と省略する場合があります。

※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

CLT	: 受託臨床検査事業	IVD	: 臨床検査薬事業
SR	: 滅菌関連事業	ENB	: 新規育成事業及びその他
HUHD	: H.U.グループホールディングス		

※ 2019年度第1四半期より報告セグメントを変更しております。本資料は過去実績も遡及し、変更後の報告セグメントの報告区分に基づき作成しております。

※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2019年度1-3Q : 1USD = 108.67 JPY 1EURO = 121.04 JPY

2020年度1-3Q : 1USD = 106.11 JPY 1EURO = 122.38 JPY

# 新型コロナウイルス関連のアップデート

---

# CLT：PCRおよび特殊検査受託状況のトレンド

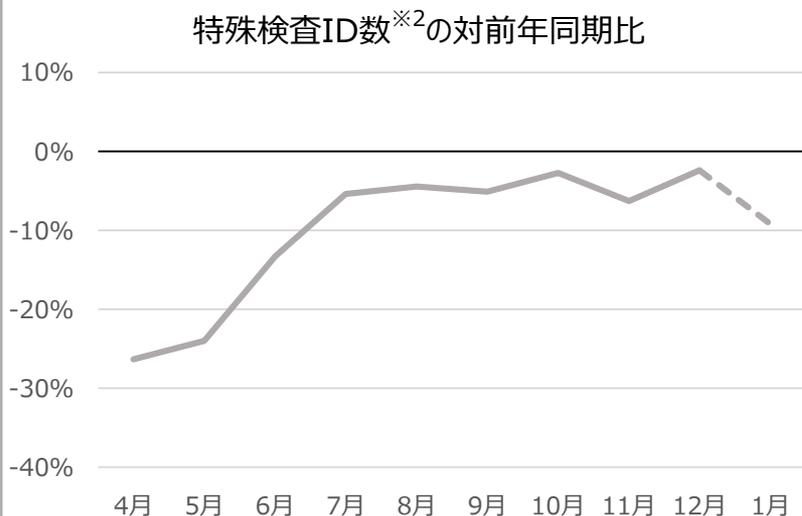
## PCR検査受託状況（新型コロナウイルス関連）



- 感染者数の増加に伴い検査受託数が増加

※1 SRL、日本臨床の全国での受託

## 特殊検査の受託状況（新型コロナウイルス関連検査を除く）



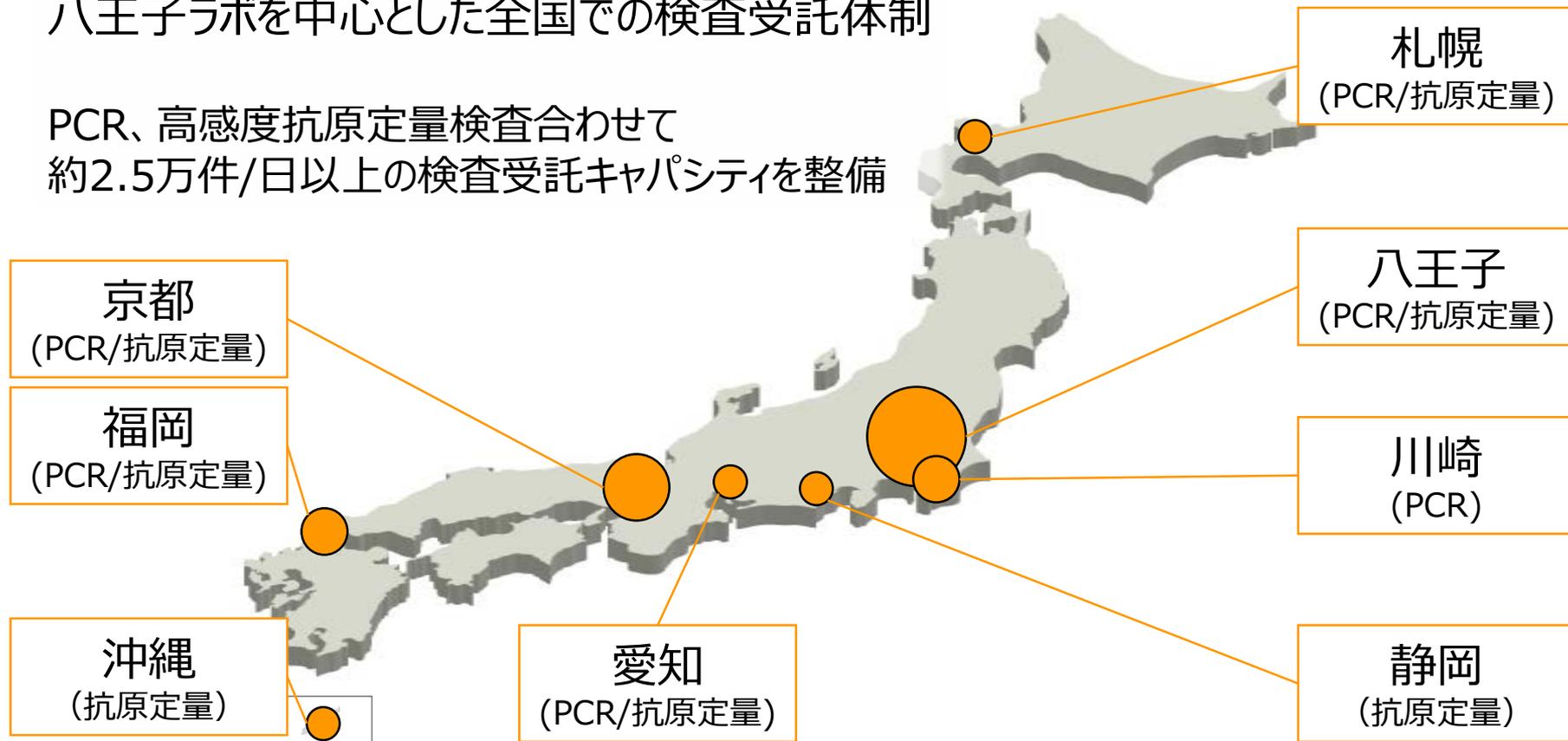
- 10-12月期も前年を下回る水準で推移

※2 八王子ラボ受付分、稼働日調整後

# CLT : PCR/高感度抗原定量検査の全国検査受託体制

八王子ラボを中心とした全国での検査受託体制

PCR、高感度抗原定量検査合わせて  
約2.5万件/日以上での検査受託キャパシティを整備



# CLT：空港検疫所での貢献

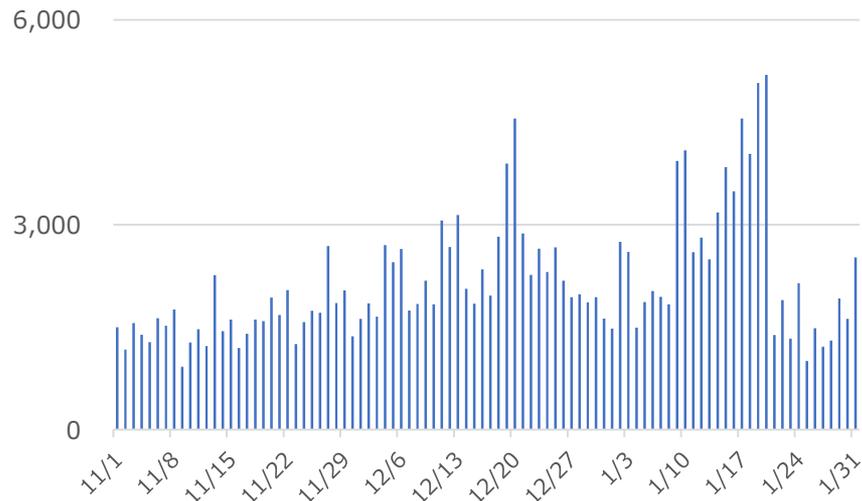
- 新たに仙台を加え、合計8か所の空港検疫所へ高感度抗原定量検査を提供
- 包括的検査サポート提供は5か所へ拡大（成田・羽田・関西＋**中部・福岡**）

## 空港検疫所

40台 8空港



## 空港検疫所での抗原検査実施数



- 直近は1,000～2,000件/日で推移

# IVD：高感度抗原定量検査および迅速抗原検査

## ルミパルス設置台数

国内市場設置済み台数：約1,550台

- 新型コロナウイルスによる新規設置  
12月末：約250台設置済み（10-12月：約130台）  
通期：約310台設置見込み

大型機  
※1  
約450



- 240テスト/h
- 大病院・検査センター・空港検疫所

中型機  
※1  
約850



- 120テスト/h
- 中～小規模病院・空港検疫所

小型機  
※1  
約250

- 60テスト/h

FY2020 3Q

FY2020 4Q

## 迅速抗原検査 エスプライン SARS-CoV-2

旭川工場の稼働  
・製造キャパは宇部工場と合わせて  
40万件/週へ増強

海外での販売地域の拡大（予定を含む）  
中南米：チリ、ボリビア、アルゼンチン、ペルー  
東南アジア：ベトナム

## 高感度抗原定量検査 ルミパルス SARS-CoV-2 Ag

- 国内：ルミパルス設置増による医療機関への販売拡大
- 海外：3Qより欧州（イタリア等）を中心に販売拡大

米国FDAへ  
EUA申請  
（12月）

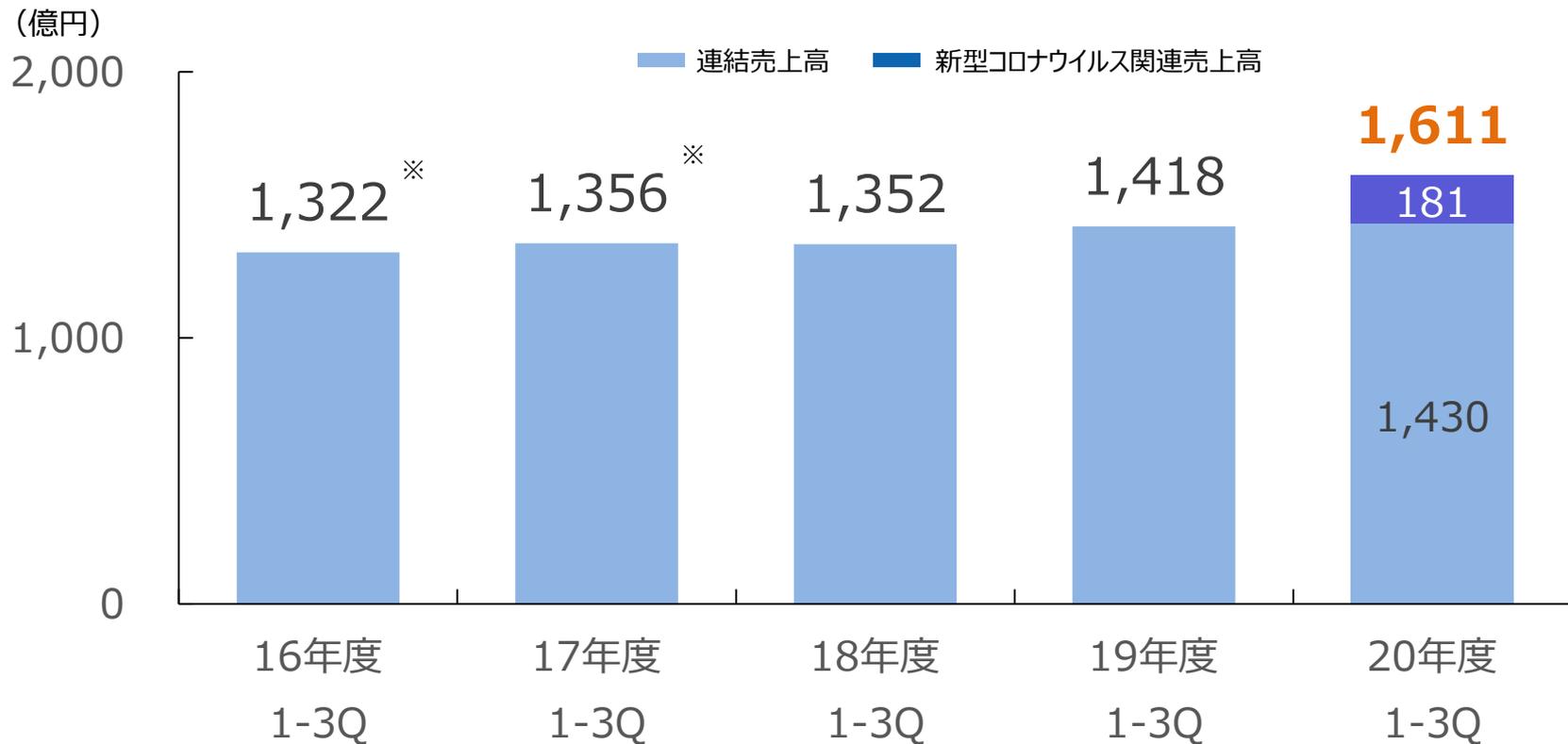
EUA承認待ち

# 2020年度第3四半期業績概況

---

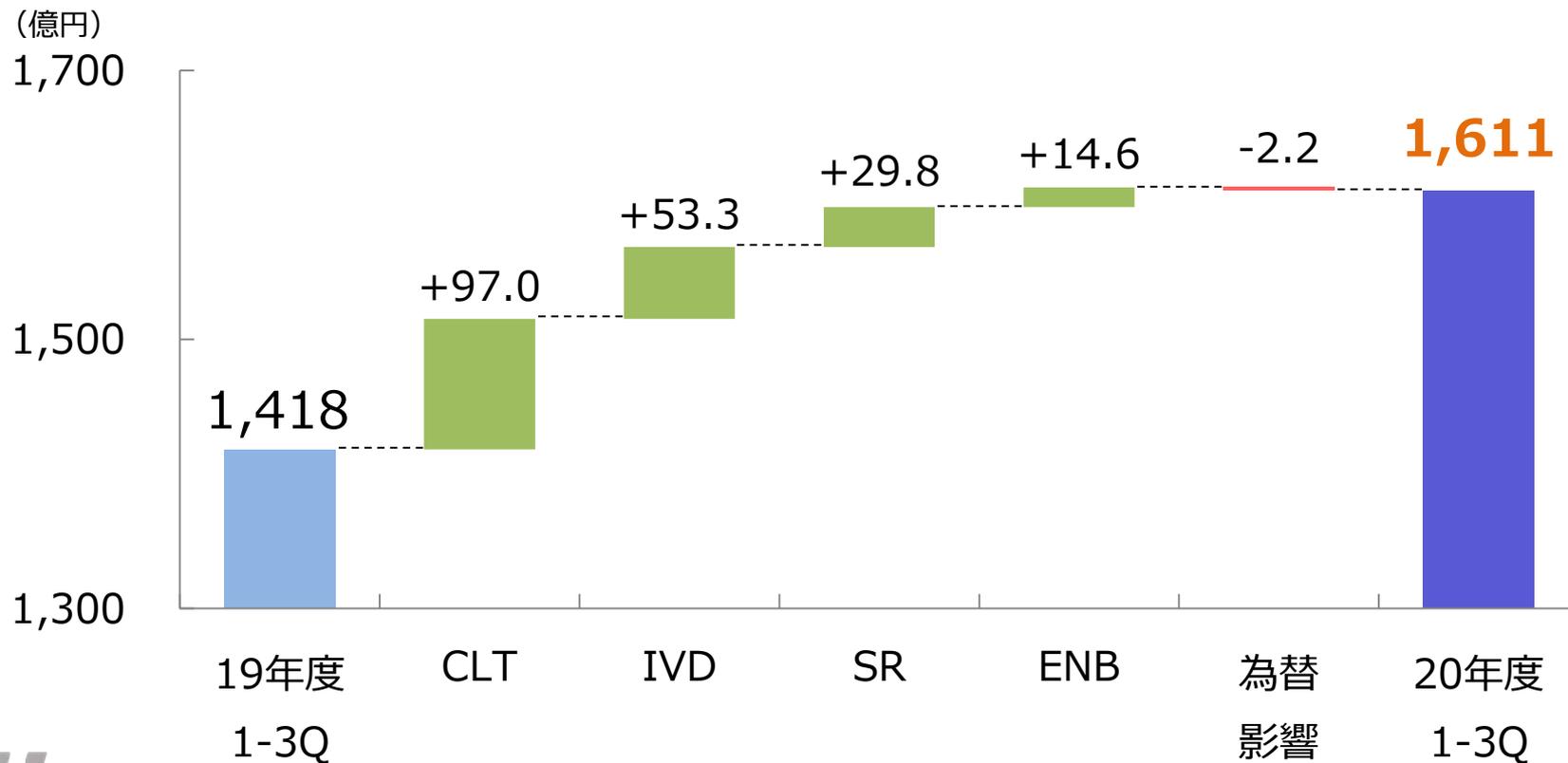
# 連結売上高 推移

第3四半期累計期間（海外CLTを含む）における過去最高の売上高

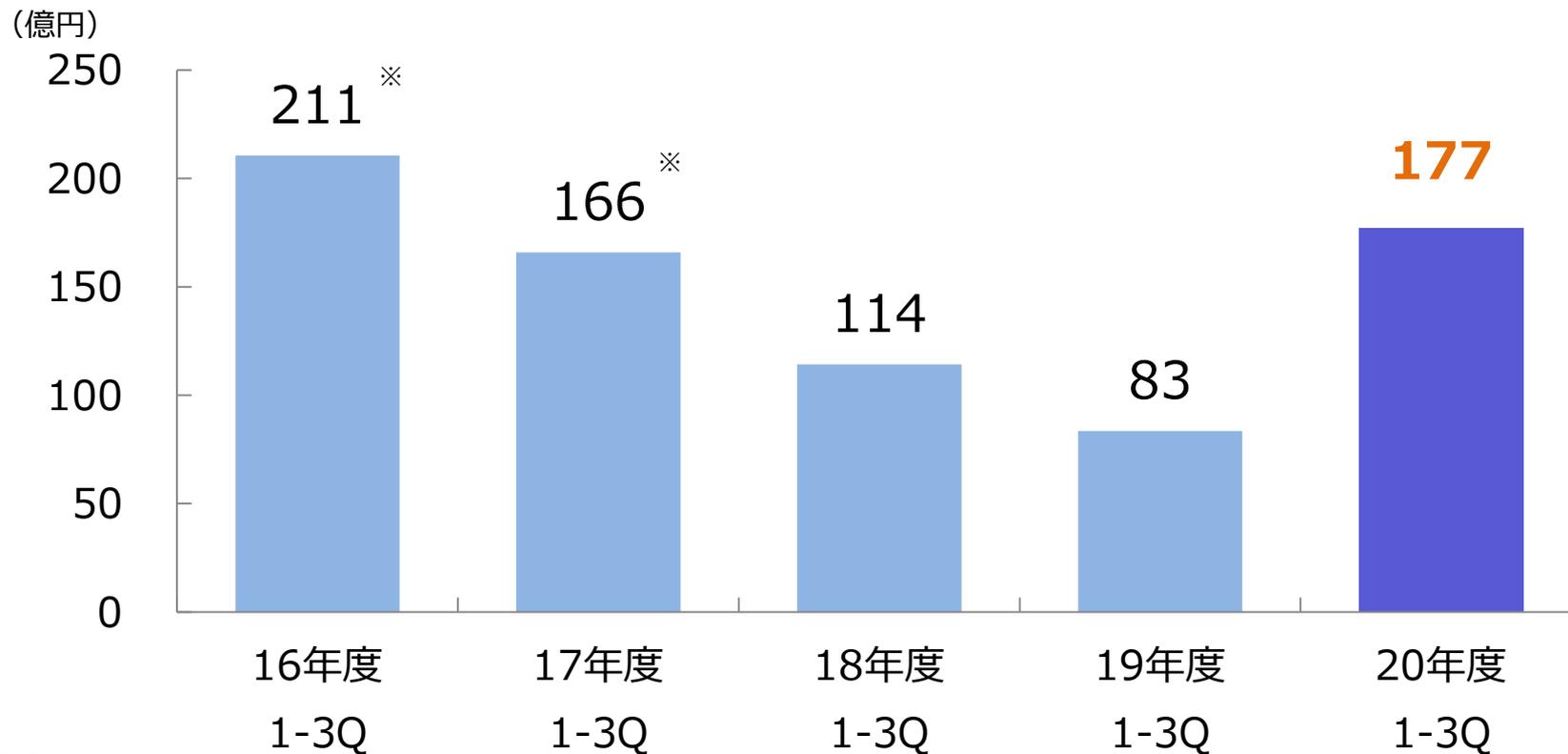


※ 海外CLTを除く

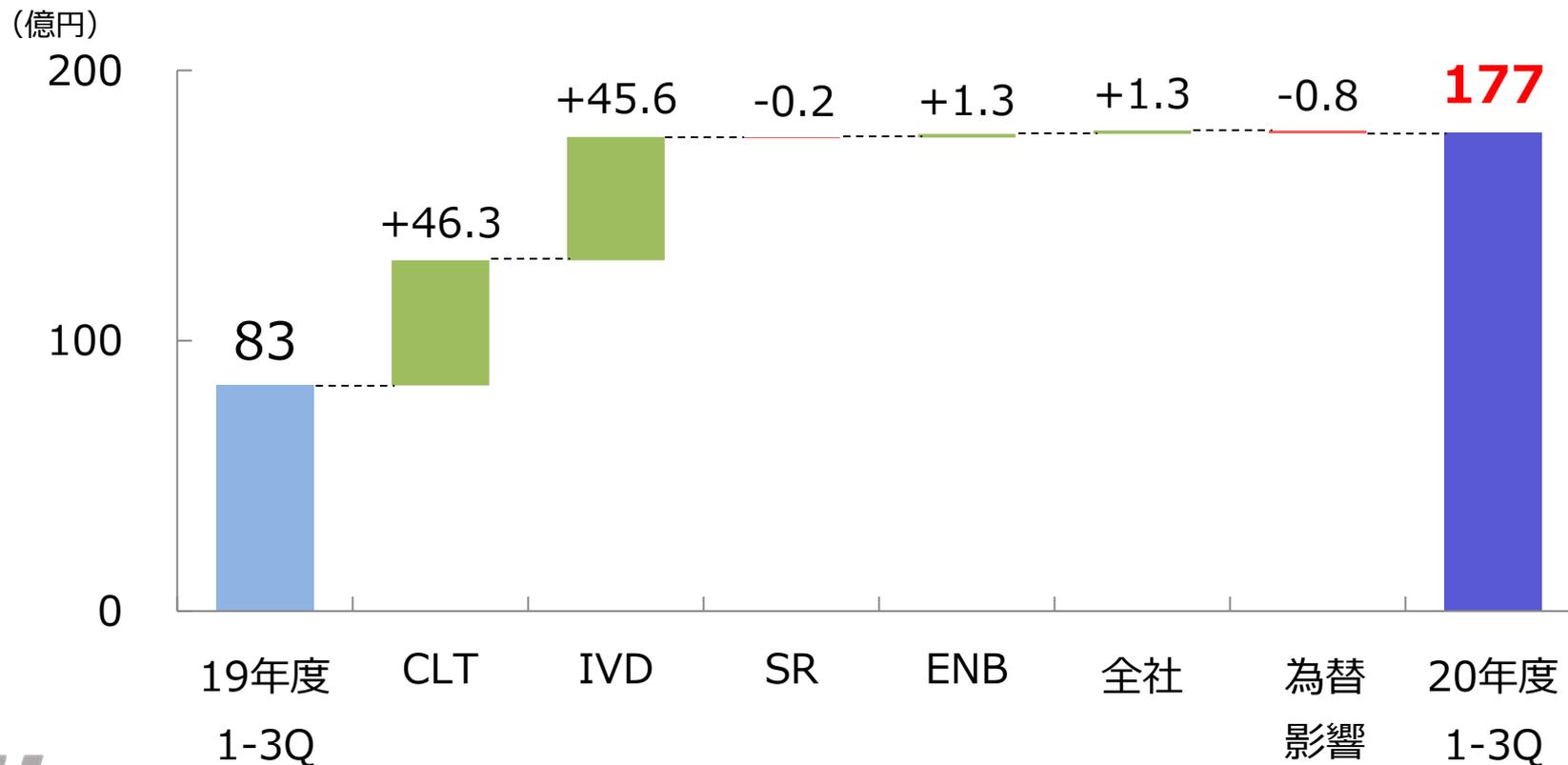
# 連結売上高 対前年同期比較



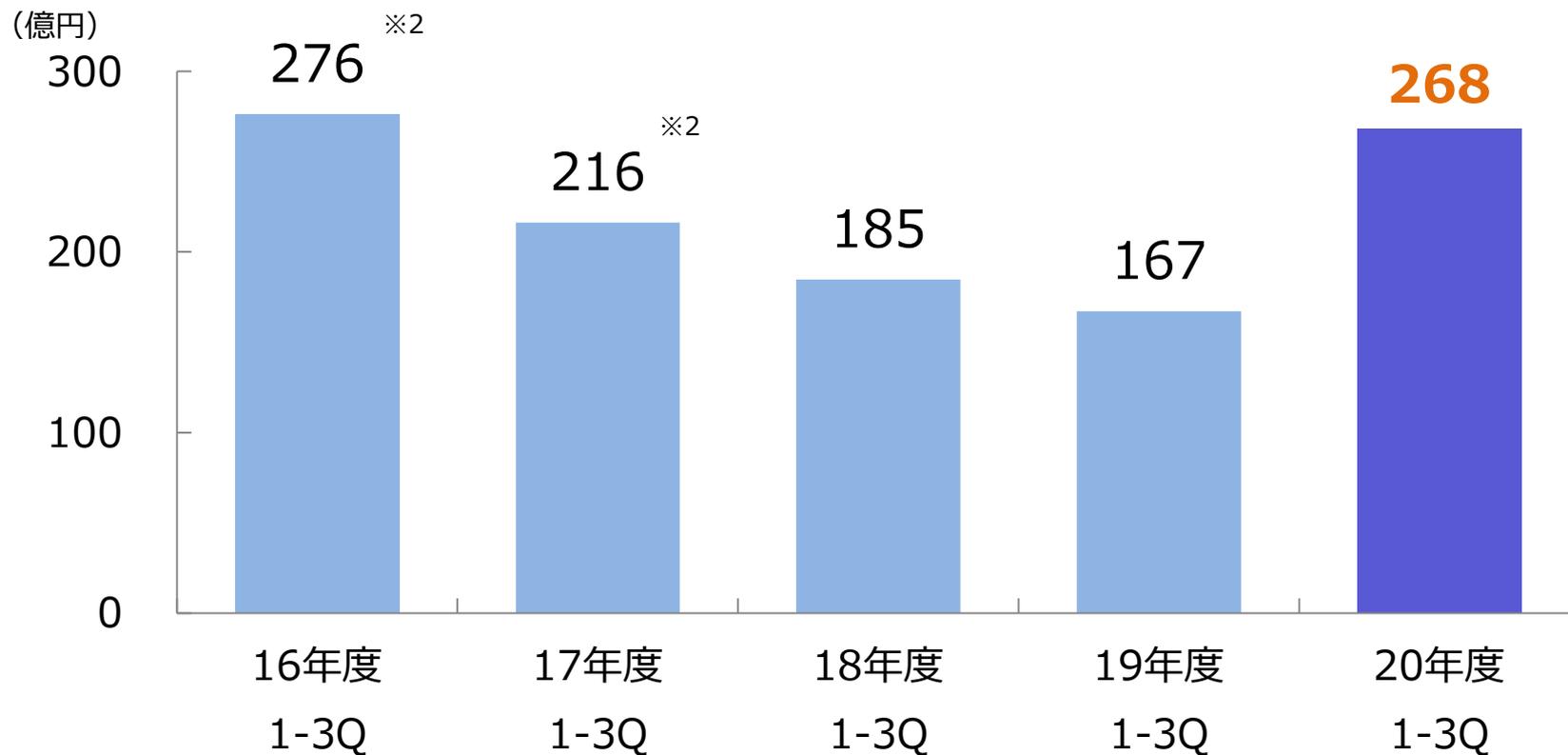
# 連結営業利益 推移



# 連結營業利益 対前年同期比較

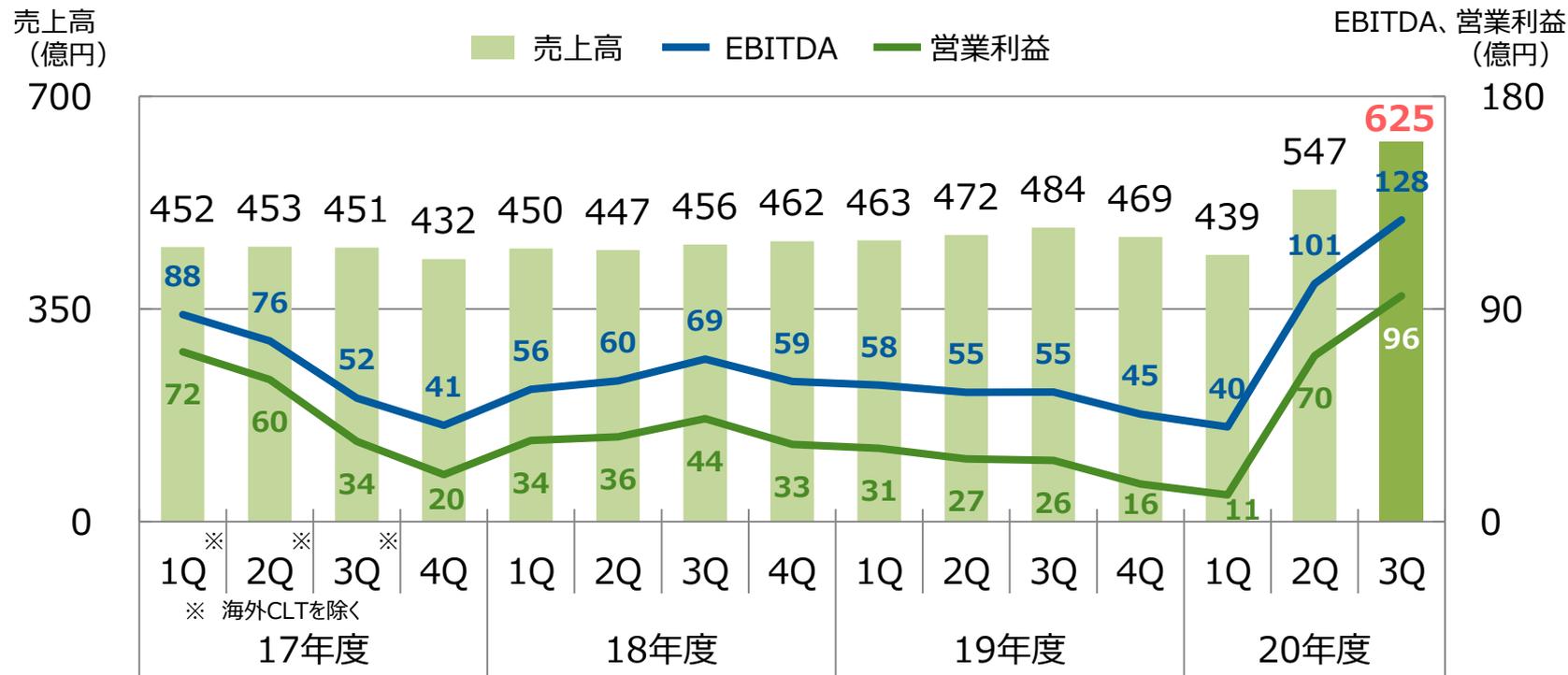


# 連結EBITDA<sup>※1</sup>推移



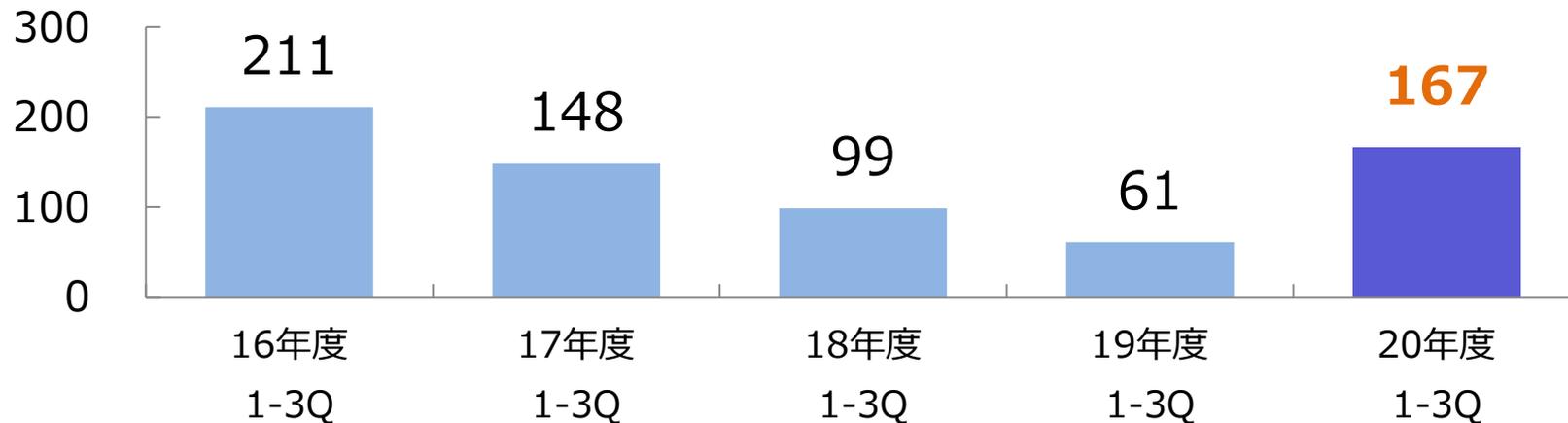
# 四半期毎の業績推移

四半期ベース（海外CLTを含む）で、過去最高の売上高、EBITDA、営業利益



# 連結経常利益 推移

(億円)



## 主要要因

### 【2019年度1-3Q】

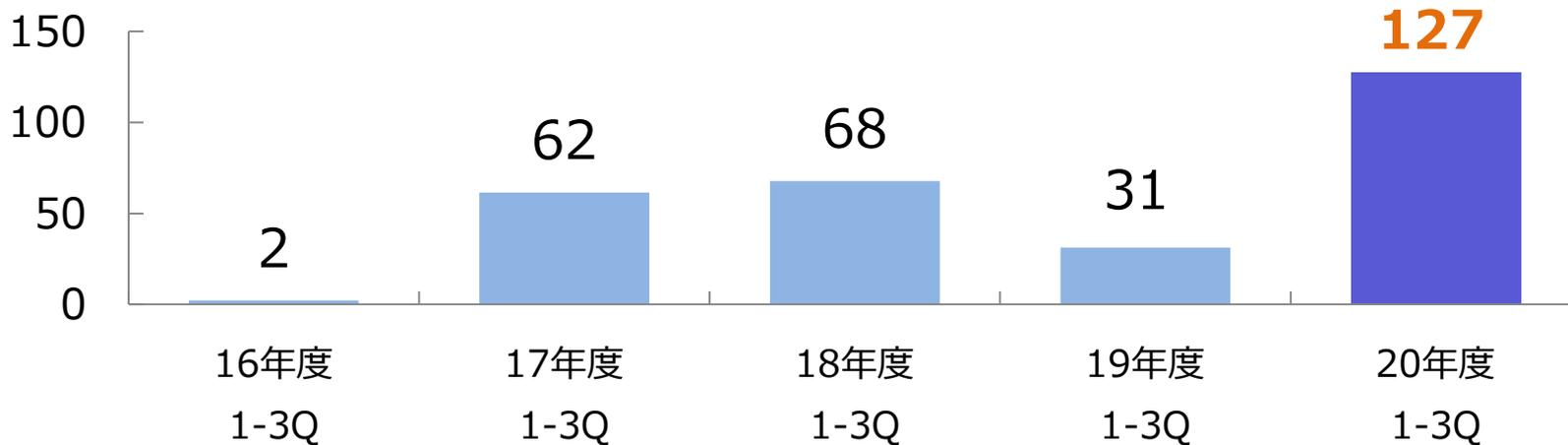
- 持分法による投資損失  
✓ BMGL ▲23億円  
✓ 平安保険グループとのJV ▲18億円  
▲5億円

### 【2020年度1-3Q】

- 持分法による投資損失  
✓ BMGL ▲12億円  
✓ 平安保険グループとのJV ▲5億円  
▲7億円

# 連結当期純利益 推移

(億円)



## 主要要因

【2019年度1-3Q】

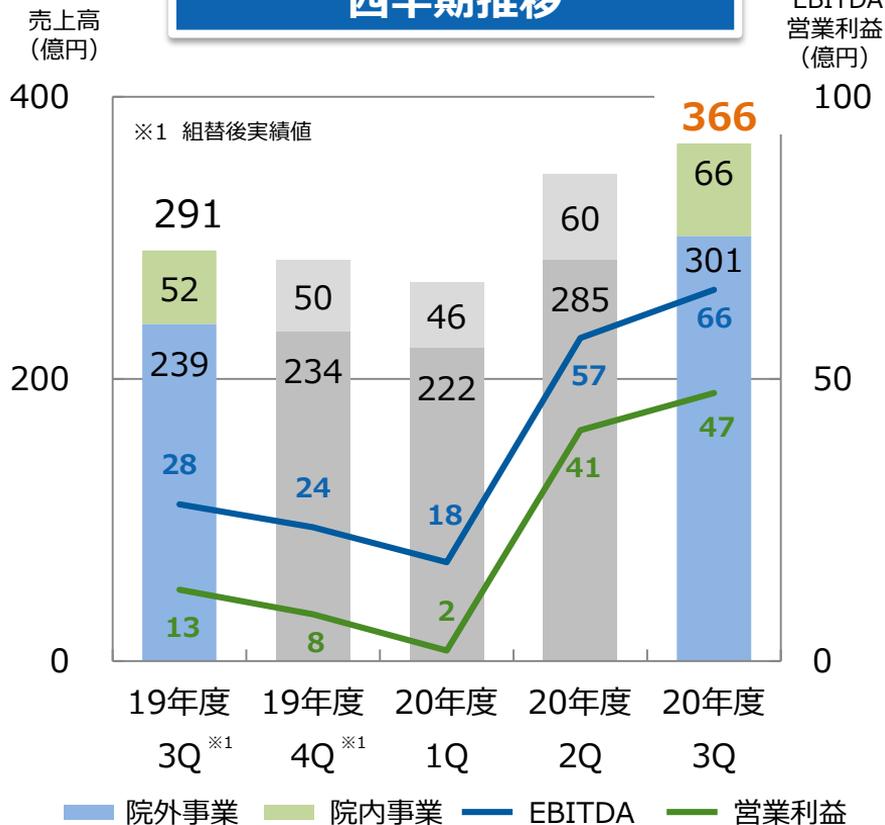
- (特記事項無し)

【2020年度1-3Q】

- 事業構造改善費用 ▲8億円

# CLT事業

## 四半期推移



## 対前年同期比

(億円)

	19年度 1-3Q	20年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	884	981	+97.0	+11.0%
院内	154	173	+18.2	+11.8%
院外	730	809	+78.9	+10.8%
EBITDA	88	141	+52.8	+60.2%
営業利益	44	90	+46.3	+105.5%

### 売上高

- テスト数：+0.4%
- 新型コロナウイルスPCR検査の増加
- 遺伝子関連検査の増加
- 空港検疫所における包括的検査サポート

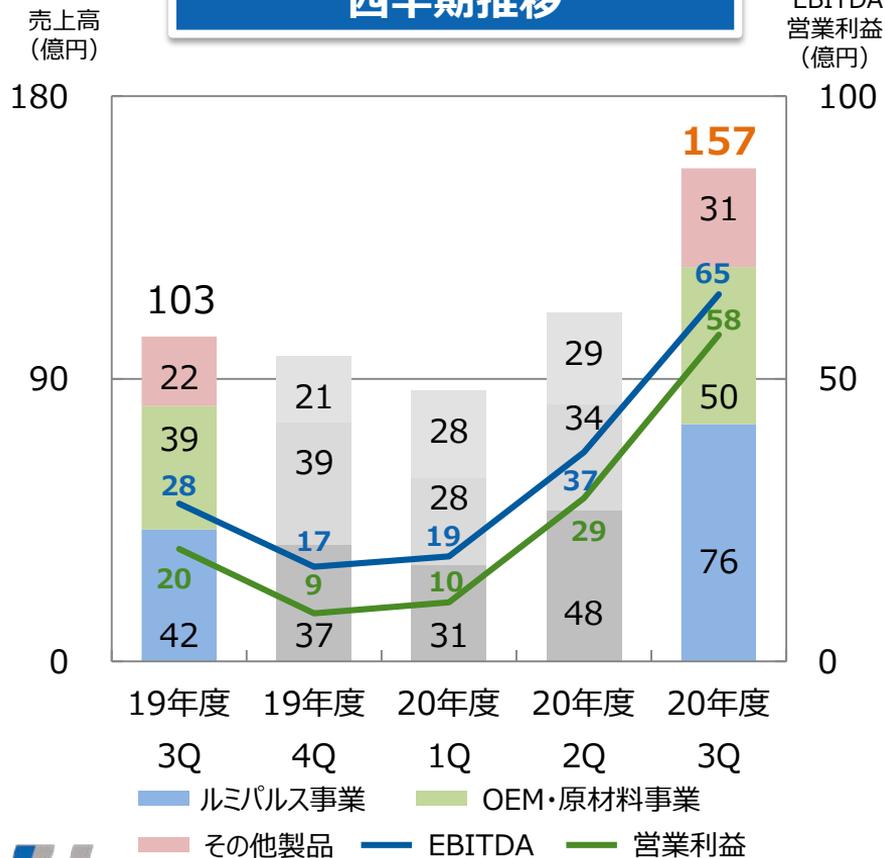
### 営業利益

- 新型コロナウイルスPCR検査および空港検疫所における包括的検査サポートによる増収に伴う増益
- 減価償却費の増加 (▲8億円)

※1 今年度よりSPSサービス事業をSR事業へ承継したことに伴い過去実績は遡及して組替後実績値を掲載（2019年12月19日付リリース参照）  
 ※2 SPS（サニター・パッケージ・システム）サービス：白衣等ユニフォームのリース、メンテナンス、利用者個人別の管理を医療機関に提供するサービス

# IVD事業

## 四半期推移



## 対前年同期比

(億円)

	19年度 1-3Q	20年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	303	355	+51.0	+16.8%
ルミパルス	121	154	+33.6	+27.8%
国内	105	131	+26.1	+24.8%
海外	16	23	+7.5	+47.6%
OEM・原材料	119	112	-7.5	-6.3%
その他	64	89	+25.0	+39.2%
EBITDA	77	121	+44.0	+57.6%
営業利益	52	97	+44.8	+85.4%
ルミパルス 内販売上高	17	32 <sup>※</sup>	+14.9	+86.0%

※ 新型コロナウイルス関連検査試薬を中心とした売上高の増加

### 売上高

- 新型コロナウイルス関連検査試薬による増収  
(エスプラインSARS-CoV-2、ルミパルスSARS-CoV-2 Ag)
- OEM・原材料：検査需要の減少に伴う減収  
3Qでは過去最高の売上高

### 営業利益

- 増収および内販拡大による増益

# SR事業

## 四半期推移

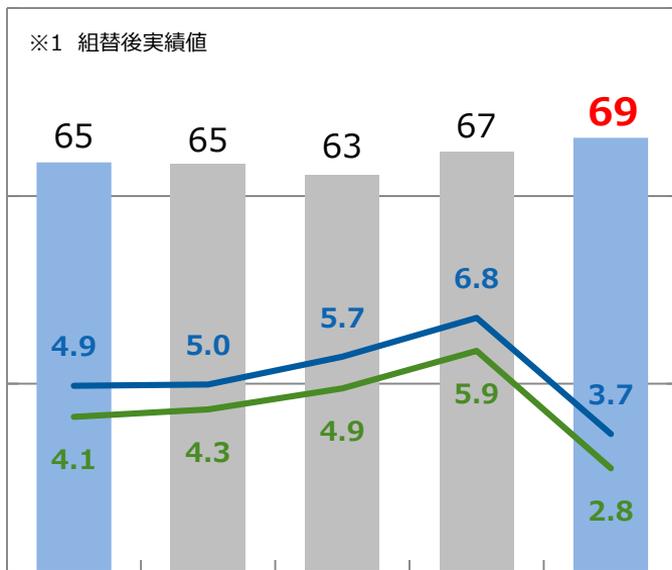
売上高  
(億円)

90

60

30

0



19年度 19年度 20年度 20年度 20年度  
3Q<sup>※1</sup> 4Q<sup>※1</sup> 1Q 2Q 3Q

■ 売上高 ■ EBITDA ■ 営業利益

EBITDA  
営業利益  
(億円)

15

10

5

0

## 対前年同期比

(億円)

	19年度 1-3Q	20年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	170	200	+29.8	+17.5%
EBITDA	16.0	16.1	+0.1	+0.9%
営業利益	13.7	13.5	-0.2	-1.3%

### 売上高

- 19年度3Qから開始した大口顧客への医材預託品販売が寄与

### 営業利益

- 院内滅菌における業務量の減少による労務費の低減
- 一過性費用の計上 (▲3億円)

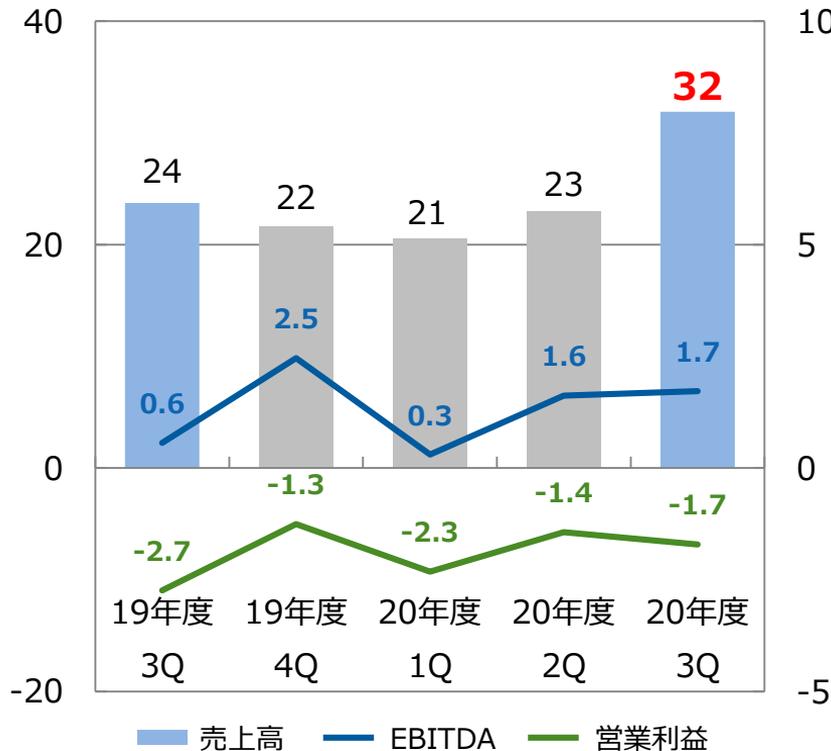
※1 今年度よりSPSサービス事業をCLT事業から承継したことに伴い過去実績は遡及して組替後実績値を掲載 (2019年12月19日付リリース参照)

※2 SPS (サニタリー・パッケージ・システム) サービス: 白衣等ユニフォームのリース、メンテナンス、利用者個人別の管理を医療機関に提供するサービス

# ENB事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)



EBITDA  
営業利益  
(億円)

## 対前年同期比

(億円)

	19年度 1-3Q	20年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	61	75	+14.6	+24.1%
EBITDA	2.2	3.6	+1.4	+63.9%
営業利益	-6.8	-5.5	+1.3	-

### 売上高

- 日本食品エコロジー研究所の売上が寄与 (+6.8億円)
- セルフメディケーション・健保事業の伸長 (+5.7億円)
- 在宅・福祉用具事業の伸長 (+2.7億円)

### 営業利益

- 事業立ち上げに伴う先行費用が継続

# 連結業績（対前年同期比）

（億円）

	19年度 1-3Q	20年度 1-3Q	対前年同期比 増減
<b>売上高</b>	<b>1,418</b>	<b>1,611</b>	<b>+192.4 +13.6%</b>
CLT	884	981	+97.0 +11.0%
IVD	303	355	+51.0 +16.8%
SR	170	200	+29.8 +17.5%
ENB	61	75	+14.6 +24.1%
<b>営業利益 ※1</b>	<b>83 5.9%</b>	<b>177 11.0%</b>	<b>+93.5 +112.0%</b>
CLT	44 5.0%	90 9.2%	+46.3 +105.5%
IVD	52 17.3%	97 27.4%	+44.8 +85.4%
SR	14 8.0%	14 6.8%	-0.2 -1.3%
ENB	-7 -11.2%	-5 -7.3%	+1.3 -
<b>経常利益</b>	<b>61 4.3%</b>	<b>167 10.4%</b>	<b>+106.2 +175.0%</b>
親会社株主に帰属する 当期純損益	<b>31 2.2%</b>	<b>127 7.9%</b>	<b>+95.9 +306.7%</b>
<b>EBITDA ※2</b>	<b>167 11.8%</b>	<b>268 16.7%</b>	<b>+101.2 +60.5%</b>

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（19年度1-3Q：▲19.7億円、20年度1-3Q：▲18.4億円）

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

# 2020年度 通期業績予想

---

# 2020年度 通期業績予想の修正

	通期業績予想 (11月10日公表)	修正後通期業績予想	19年度実績
売上高	2,000~2,200	2,235	1,887
営業利益	160~200	265	99
経常利益	145~185	255	65
当期純損益	100~130	170	-5
EBITDA	285~325	390	213

(億円)

- 期末配当（予想）は通期業績確定後、配当方針に基づき決定する予定  
配当方針：連結配当性向として、特別損益等特殊要因を除外し計算した親会社株主に帰属する当期純利益に対し50%以上

## 【連絡先】

# H.U.グループホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 IR/SR課 TEL : 03-5909-3337

### 将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。